

ニゴイ (コイ科)

学名 : *Hemibarbus barbus*

別名 : サイ, セイ, サイマルタなど

大きさ : 全長 50 cm

特徴 : 体は細長く、体高は低い。口は吻端の下方にあり、口唇が厚い。ひげは1対ある。背びれは体のほぼ中央にあり、基底は短い。尾びれには切れ込みがある。体色は灰褐色を、各ひれは薄い橙色を呈する。成熟したオスでは、体色が黒色から紫がかった黒色になるとともに追星（おいぼし）が頭部や胸びれなどに現れる。稚魚や幼魚の頃は体側や背びれに暗い斑点がある。

国内の分布 : 中部地方以北の本州と錦川以西の山口県、九州に分布

県内の分布 : 利根川水系、牛久沼、霞ヶ浦水系、涸沼、那珂川水系、久慈川水系、県北地域の大北川など

県内の生態 : 産卵期は4月から6月頃であり、霞ヶ浦の流入河川では梅雨期に群れをなしている姿がみられる。

備考 : 外形がコイに似ていることから、この名前がついたとされる。小骨が多くあま



写真 : 幼魚。幼魚の頃は体側に暗色斑がある。

り食用にはされないが、産卵期のニゴイは美味しいと言われている。“花見ザイ”という言葉もあり、その時期は珍重されたようである。

県北地方の河川では、1998年までに行われた調査では本種が確認されていたが、2006～2010年の調査（内水試、未発表）では確認されていない。

主な文献 :

川那部浩哉・水野信彦編（1989）日本の淡水魚，山と溪谷社，東京．719 pp.

稲葉 修（1998）茨城県北部沿岸水系の魚類．茨城生物，18: 1-15.

レイモン・アザディ（1983）茨城の淡水魚．筑波書林，土浦．93 pp.